

## 1 事業の成果

平成25年度は、当法人の事業実施のキーワードを「コミュニティの担い手づくり」とし、被災地の復興に向けて主体的に活動できる人材の育成を中心に様々な事業を実施した。

とくに、震災発災時に生まれた登米市と南三陸町の女性ネットワークをベースに整備された「とめ女性支援センター」の運営を通じて、被災地の女性の就業促進や健康保持増進、相談対応やコミュニティづくりを支援する事業を展開した。また、地域ぐるみで子育てを応援し合い、様々な人と関わりながら地域の中で子育てのできる拠点として認知されるよう、各種イベント、研修、スペース提供、情報提供等を行いながら、この施設の告知活動を実施した。

一方、大網地域において一昨年に開所した「居場所 心家」において開始された、仮設住宅で暮らす南三陸町の方々と地域住民による「絆弁当」づくりのサポートを実施した。この事業は、地域において多くの反響を呼んだが、コミュニティビジネスとして継続可能なものとするための基盤づくりとなった。

これらの事業は、被災地において生活再建中にありながらも「家庭生活と働くこと、学ぶこと、地域活動へ参加すること」の両立を図ることができる地域社会を目指していく上で必要な担い手を育成する最初の年として多くの成果を挙げることができたように思う。

また、地元商店街である大網商工振興会が発行してきた復興情報誌「FORTUNE 宮城」の制作事業を引き継ぎ、発行部数は従来同数であるものの、寄付及び協賛団体を増やし1年で3誌発行することができた。

## 2 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

事業(1)	とめ女性支援センター運営事業	実施日時	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
実施場所	とめ女性支援センター他	従事者数	4人
受益対象者	一般市民、不特定多数	事業分類	女性支援事業
目的	各種イベント、セミナー、プログラム等を実施し、登米市－南三陸町を中心とする女性支援に携わる団体・個人のネットワークを形成する。		
事業内容	1. 各種研修会や講習会、ワークショップの開催、参加 ・サンキャッチャーづくり（8月24日開催） ・まちむら交流きこうセミナー（9月5日参加） ・マクロビクッキーづくり（9月23日開催） ・手づくりワークショップ（11月4日開催） ・ハロウィンパーティー（10月27日開催） ・ガーデニングセミナー（10月29日開催） ・パステルアートワークショップ（12月26日開催）		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーブセミナー開催（1月15日開催）</li> <li>・心のケア交流会みやぎ（1月23日参加）</li> <li>・ソーシャルビジネス会議（1月31日参加）</li> <li>・布ナプキン講座（2月8日開催）</li> <li>・手づくりチョコレートセミナー（2月11日開催）</li> <li>・ニットカフェ（2月13日開催）</li> <li>・みやぎ・やまがた女性交流会（2月15日参加）</li> <li>・メンタルヘルスワークショップ（2月20日参加）</li> <li>・資金調達セミナー（3月5日参加）</li> <li>・イベント開催研修（3月23日横浜三塔物語参加）</li> <li>・おもてなしセミナー（3月28日参加）</li> <li>・広報力アップ講座の開催（4回開催）</li> <li>・パソコン研修会の開催（毎週水曜日）</li> <li>・その他多数</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 小さな作品展示販売所「小箱 box」の運営、作家交流会の開催</li> <li>3. キッズスペース「ぱたぱた」の運営</li> <li>4. 「ちっちゃな hug マルシェ」の開催（11月23日）</li> <li>5. ニュースレター制作・配布（通年）</li> <li>6. コミュニティカフェ「つむぎ」の運営</li> <li>7. コワーキングスペースの開設・運営</li> <li>8. 登米市企画部市民活動支援課の事業協力（託児サービス等）</li> <li>9. その他</li> </ol>
<b>成 果</b>	各種研修会やワークショップ、イベントの開催及びその告知活動が、「食べる・買う・学ぶ・体験」ができる場としての「とめ女性支援センターhug」の認知度向上につながった。

<b>事業(2)</b>	緊急雇用創出事業受託業務	<b>実施日時</b>	平成25年7月10日～ 平成26年3月31日
<b>実施場所</b>	法人事務所及びとめ女性支援センター他	<b>従事者数</b>	6人
<b>受益対象者</b>	雇用者4名	<b>事業分類</b>	人材育成事業
<b>目的</b>	地域の雇用・就業情勢が厳しい中で、東日本大震災により、甚大な被害を生じ、被災された方々の雇用機会を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用に結び付ける。		
<b>事業内容</b>	登米市との委託契約に基づき、東日本大震災により被災した失業者を雇用し、研修受講及び資格取得等の機会を提供し、将来にわたり被災地の復興に資するた		

	<p>め、コミュニティビジネスの事業化に向けて下記業務を継続して実施した。</p> <p>1. 市場ニーズ等の調査・分析及び報告  事業に係る市場ニーズや将来有望な分野、他地域における先進的な取り組みを調査し、資料を作成し定例会議において提示した。</p> <p>2. 計画内容・スケジュール支援等  事業の計画内容・スケジュール等について、市場性・優位性・実現可能性などの観点から、必要に応じて指導・アドバイスすることによりブラッシュアップを行い、事業の円滑な推進を図った。</p> <p>3. 研修支援等  当法人独自のノウハウやネットワークを最大限に活用し、事業の各段階に応じて研修や講習会への参加等を行った。</p> <p>4. 他の支援機関やとのコーディネート  東京大学のHSFやHSP、NPO法人ウイメンズアイをはじめとする他の機関から最適な支援メニューを選び出し、その支援機関による支援が受けられるようコーディネートを実施した。</p> <p>5. 実績報告書  事業終了後、または四半期毎に下記書類等を登米市に提出した。</p> <p>①雇用創出等報告書  ②雇用創出基金事業失業者一覧表  ③実績報告書  ④その他市が指定する書類等</p>
<p><b>成 果</b></p>	<p>住民等を含めた関係者間のコミュニケーションを通じた情報共有を深め、男女共同参画社会の実現へ向けて実践できる人材の育成に努めることができた。</p> <p>また、「とめ女性支援センター」の管理運営に関する知識、技術、ノウハウを高めるOJTを中心とした各種研修の実施は、コミュニティビジネスの事業化に向け、多くの成果を挙げることができた。</p>

事業 (3)	湯島食堂 IN 登米市	実施日時	平成 25 年 10 月 8 日 (9 : 00~21 : 00)
実施場所	登米市内、居場所心家	従事者数	4 人
受益対象者	登米市民、南三陸町民 45 人	事業分類	コミュニティサポート事業
目的	仮設住宅に居住する方々と地域住民が「食」を通して友人となり、町と町との垣根を超えた交流の一助とする。		
事業内容	ビーガンレストランとして高名な東京都文京区にある「湯島食堂」を運営する本道佳子氏を講師として招き、食を通じてポジティブな未来を創造するための調理 & 食事会を開催した。		
成果	野菜だけでミラクルな食事を提供する「湯島食堂」を運営し、NPO法人国境なき料理団の代表理事を務める本道氏の料理は、参加者の笑顔と希望、つながりを生むものだった。 また、登米市産野菜のポテンシャルの高さをPRする機会ともなった。		

事業 (4)	絆弁当サポート事業	実施日時	毎週水・木曜 11 : 00~14 : 00
実施場所	登米市内、居場所心家	従事者数	2 人
受益対象者	絆弁当従事者、一般市民	事業分類	コミュニティサポート事業
目的	町と町との垣根を超えた交流によるコミュニティビジネス「絆弁当」の事業化に向けたサポートを実施する。		
事業内容	絆弁当（仮設住宅に居住する4名の手づくり弁当宅配事業）の事業化に向け、メニュー開発、食材調達、調理、顧客開拓、配達等のサポートを実施した。 ※「三菱商事復興支援財団」助成金を活用		
成果	4人の仮設住宅に居住する女性の手づくりによる弁当づくりは、水曜日と木曜日のランチのみ、かつ一日20食限定、食材は登米市と南三陸町産限定という限定づくしで10月から始まった。 現在では、一日40食の注文がコンスタントに入るようになり（現在でも一日20食限定とうたっている）、その注文に応えられるようになった。 また、この事業を通し地元住民との交流も促進されるようになり、従事者の仲間づくりや生きがいづくりにも寄与している。		

事業(5)	地域再生セミナー	実施日時	平成 25 年 11 月 1 日 (10:00~21:00)
実施場所	登米市内、居場所心家	従事者数	6 人
受益対象者	地元農家、会員 12 人	事業分類	コミュニティポート事業
目的	講師とともに地域を歩き、客観的な目で地域資源を掘り起こし、今後の地域再生や地域活性化へ向けて考え行動するための一助とする。		
事業内容	地域再生診療所所長の井上弘司氏を講師として招き、登米市内の廃校を中心に現地調査の実施に同行した。 講師から農村地域の現状について課題提起がなされた後、調査結果をもとに作成した具体的な再生プランが示され、これに対する意見交換会を地元農家の方々を交え開催した。		
成果	地域活性化を図るためには、廃校の活用をはじめ、未利用の様々な地域資源の活用を図ること、これからの地域づくりを担う若い世代の人材を育てることの必要性を学ぶ機会となった。		

事業(6)	編んだもんだら 4 拠点交流会	実施日時	平成 25 年 12 月 20 日 (11:00~15:00)
実施場所	コンテナおおあみ及び居場所心家	従事者数	4 人
受益対象者	仮設住宅(4か所) 居住者他 38 名	事業分類	コミュニティポート事業
目的	4 拠点間の交流を通じて、ともに復興を目指す仲間としての意識を芽生えさせるとともに、作業及び商品の標準化を目指す。		
事業内容	震災からの復興を目指す女性達の手仕事プロジェクト「編んだもんだら」の作り手である南三陸町中瀬町、寄木、気仙沼市大島、登米市南方の仮設住宅居住者の方々を一同に集め、 ・編み方教えあいッコ ・作り手同士の親睦交流 ・販売スタッフとの意見交換 ・ニットデザイナーによるワンポイントアドバイス 等を実施した。 ※「三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド」助成金を活用		
成果	プロジェクトが始まって2年が過ぎ、ようやく製作・販売体制が整ってきたことから本事業の実施に至ったが、拠点間と販売スタッフとの交流が図られ、ともに復興を目指すチームとしての意識が芽生えた。		

事業(7)	100万人のキャンドルナイト IN おおあみ	実施日時	平成25年12月22日 (15:30~19:00)
実施場所	法人事務所隣地駐車場	従事者数	4人
受益対象者	一般市民、不特定多数	事業分類	コミュニティポート事業
目的	夏至と冬至に各地で行われている「100万人のキャンドルナイト」を大網地域において本年も実施し、キャンドルを囲みながら、ゆるやかに過ごす時間や人とのつながりを大切にする。また、持続可能な社会を形成するための新しいライフスタイルを地域住民に提案する。		
事業内容	大網地域において開催している「おおあみアートイルミネーション」の関連イベントとして、キャンドルナイトを昨年に引き続き実施した。		
成果	地域住民や子ども達が、キャンドルを囲みながら静かな時間を過ごした。震災後2年9ヶ月が経過した現在もなお不便な生活を強いられている人たちのこと、原発やエネルギーのこと、日本の農業や食べ物への思いといった日常では考えないことを見つめなおす時間やきっかけを提供できた。		

事業(8)	「FORTUNE宮城」発行事業	実施日時	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
実施場所	全国、法人事務所	従事者数	4人
受益対象者	不特定多数	事業分類	FORTUNE宮城事業
目的	震災後3年目に入り、被災地の課題は未だ深刻だが、それを払拭するような力強い活動や時代に沿った新しい取り組みは続いており、それらの活動を各地に紹介し、まちづくりや復興への活動に活かす。		
事業内容	被災前と後での被災地域を見つめ、そこに住む人々の暮らしはどう変化し、もともとあった自然や生活環境、文化や伝統を人々はどう守ろうとしているのか、復興情報誌「FORTUNE宮城」を通し全国に紹介した。		
成果	時間の経過とともに、震災に関する報道も減少し、今もなお続く復興へ向けての地道な取り組みについてはほとんど取り上げられなくなってしまった。 その中でも寄付及び協賛団体を増やし、地元に着した取材を続け、3誌発行することができた。また、取材と配布活動を通して、被災地域周辺市町村の壁を越えて様々な団体とのつながりもできた。		

事業(9)	NPO等への支援事業	実施日時	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
実施場所	宮城県内、法人事務所	従事者数	4人
受益対象者	下記各団体	事業分類	コミュニティサポート事業
目的	各団体だけでは難しい課題の解決や事業の実施を補完するために、仲介や代行、ネットワークづくりなどの間接的な活動を行う。		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 南方仮設住宅盆まつり（8月20日開催）の運営サポート</li> <li>2. 「南三陸コミュニティメディア」へのNPO法人化サポート</li> <li>3. NPO法人ハピふる Wedding に対するマネジメント力向上支援</li> <li>4. NPO法人人間の安全保障プログラム及び人間の安全保障フォーラムの活動サポート</li> <li>5. NPO法人地球と握手の活動（宮城県内でのワークショップ等）サポート</li> <li>6. とめ市民活動プラザの事業協力</li> </ol>		
成果	イベント開催のためのコーディネートや法人設立のサポート、組織運営、財政、人材集め、広報などにおいて各団体の役に立つことができた。		